

Moonwalk V9 について(2014/7/10 版)

有限会社オプティカルエキスパート

2014 年 6 月から、Moonwalk の V91u2 がリリースされ使用可能なサーバー数に応じて以下の 3 種類のエディションが
出来ました。これに伴いライセンスの体系が、エディション毎に Moonwalk が処理したデータ容量でのライセンスに変
更されました。従来のデータ容量が無制限でエージェント数でのライセンスに比べると、合理的な価格体系になりま
した。エージェントとゲートウェイに関する制限は無いのでサポートされているものをどのエディションでもフルに使用
出来ます。

Enterprise Edition

サーバー数が無制限。

Departmental Edition

サーバー数が 20 台まで。

Professional Edition

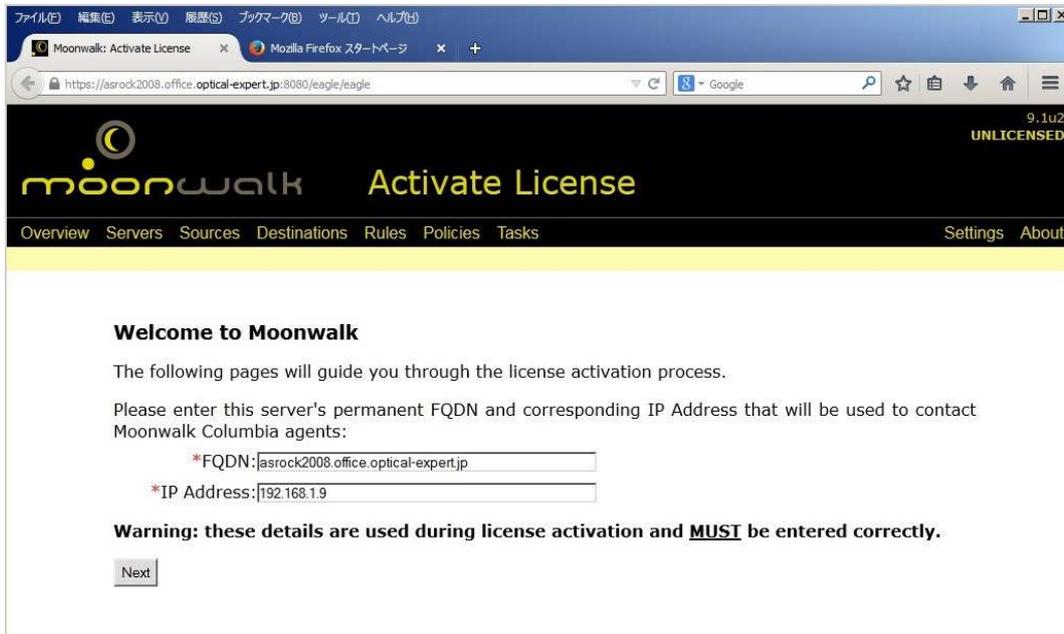
サーバー数が 10 台まで。

サーバーという概念は従来には無いもので V9 から追加されました。さらに、インストール時のライセンスを入力する
手順も変更されました。従来は、ソースやディスティネーション(ターゲット)として使用するシステムを指定する際に、
サーバー名だけでなく直接 IP アドレスを指定することが可能でしたが、V9 から FQDN での指定が必要となりました。

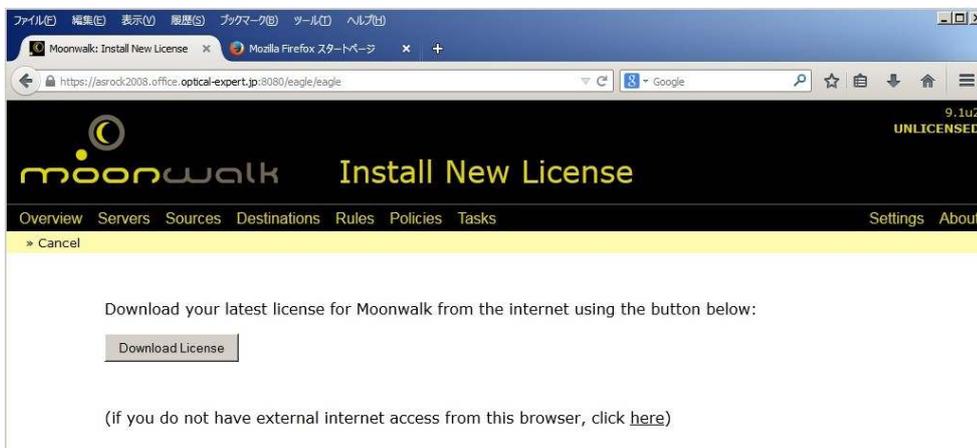
以下に、新しいライセンスの有効化の手順と、Caringo CASstor を Destination(ターゲット)として動作させるための設定
の手順と動作結果を紹介します。

ライセンス有効化の手順

以下にライセンスを有効化するための手順を紹介します。インストール後に、管理ツールの Columbia を起動し、ライセンスを有効にする際にも以下の通り、FQDN での指定が必要です。



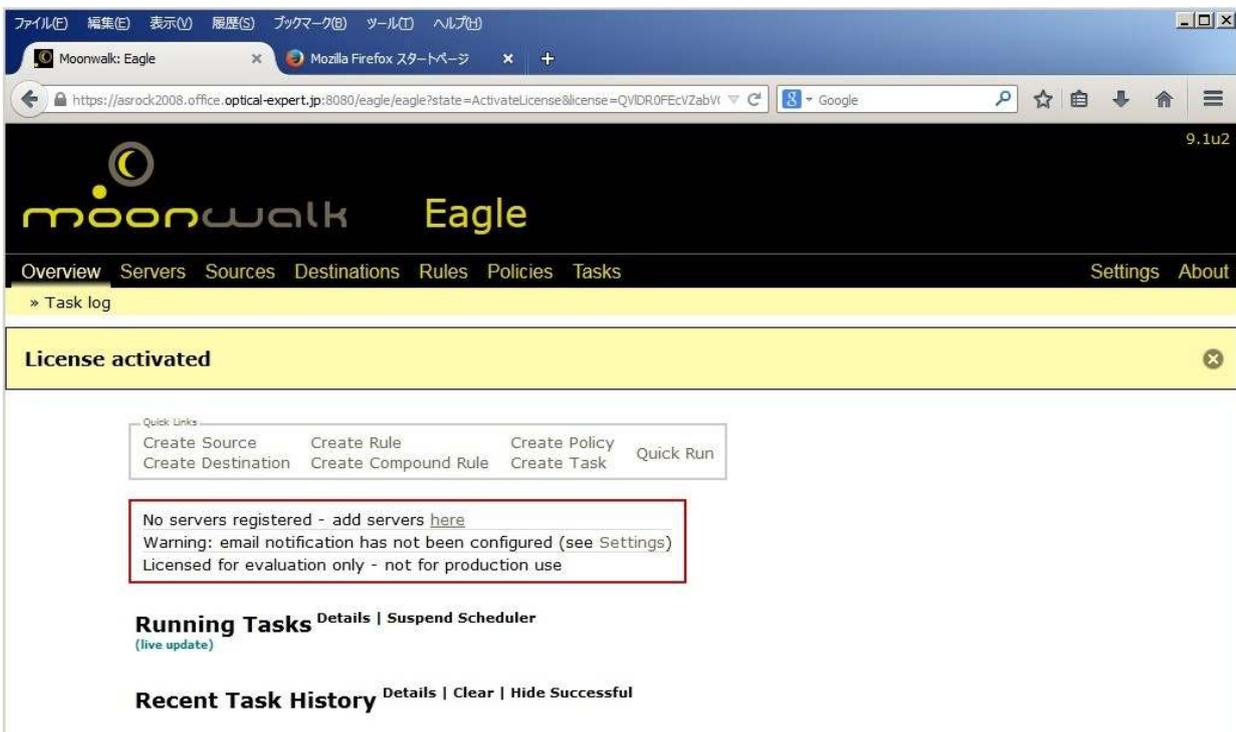
Next をクリックします。従来は、ライセンスが暗号化されたファイルが送られて来ましたが、専用の Web ページに管理ツールから直接アクセスするようになりました。



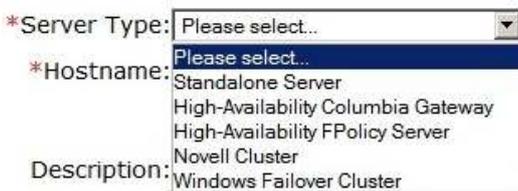
Download License をクリックすると Web サイトに接続されますので、予め指定されているユーザー名とパスワードでログインします。ログイン後は以下の画面で、activate... をクリックするとライセンスが有効になります。



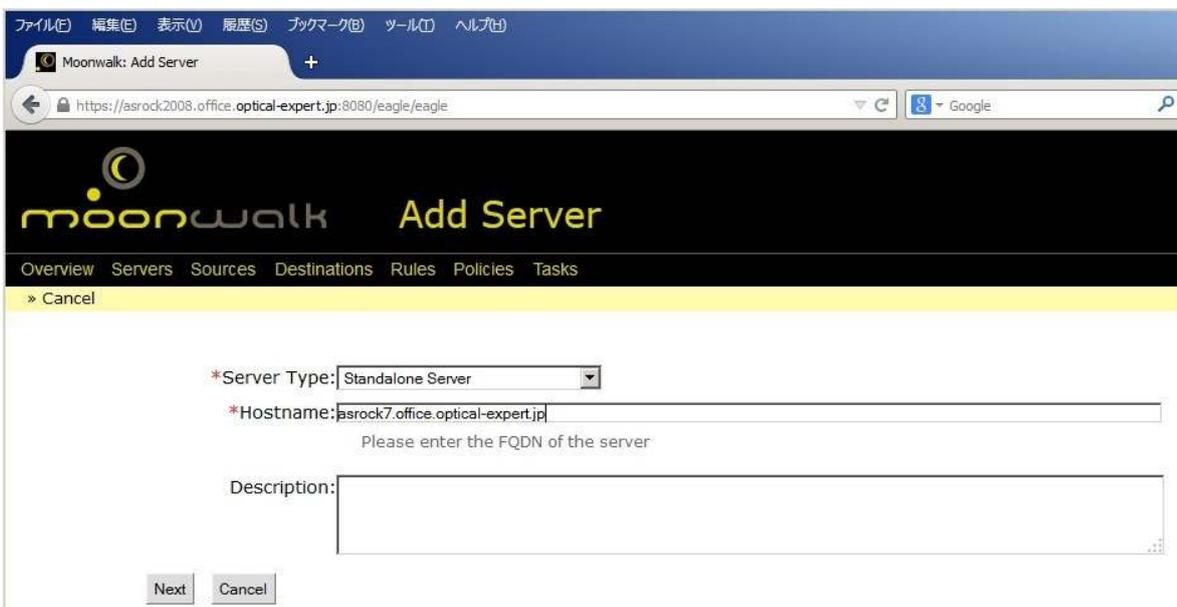
ライセンスが有効になると以下の画面になりますが、サーバーが未登録というメッセージが表示されています。



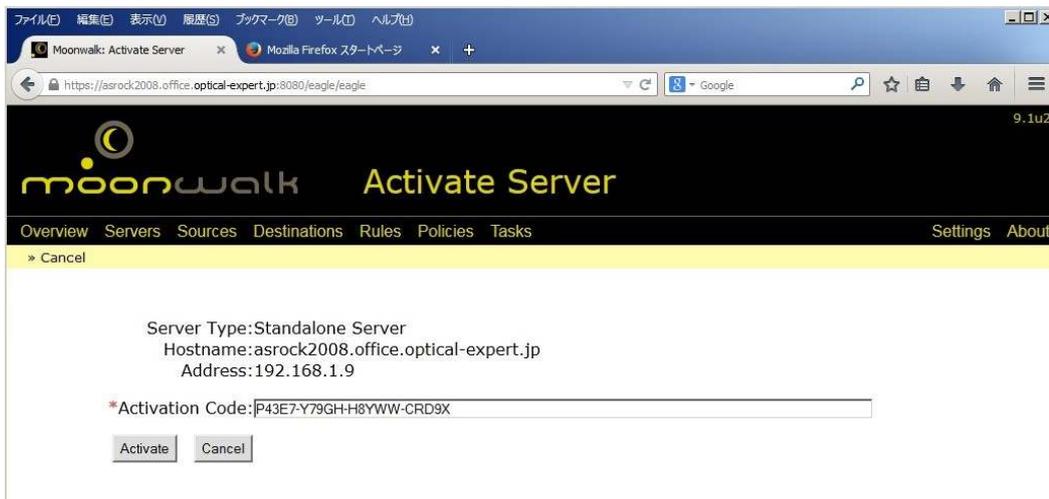
Server を追加するため、画面上部の Servers から Add New Server を実行すると以下の画面が表示されます。サーバーの種類としては、以下から選択します。



さらに、FQDN のホスト名を入力して、Next をクリックします。



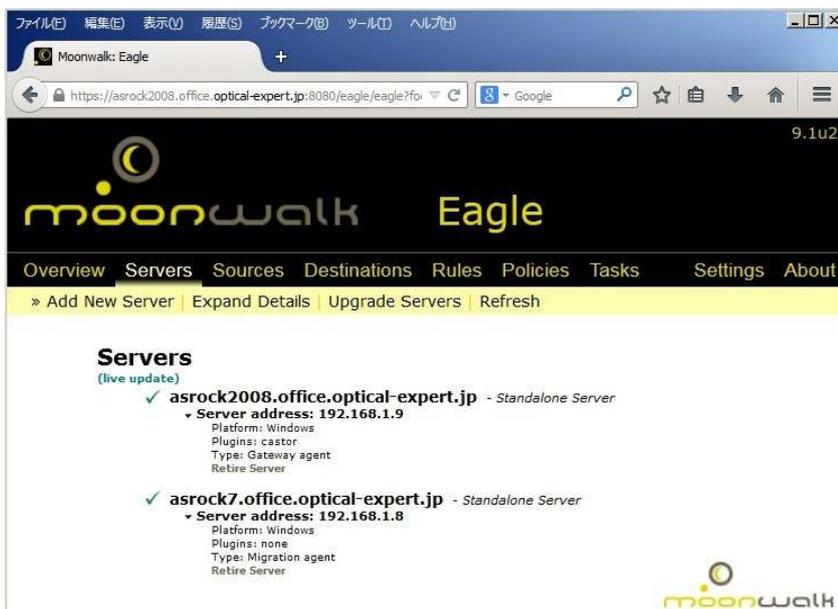
すると、画面が Activate Server となり、Activation Code の入力が必要となります。



Activation Code は、そのサーバーで稼働されるエージェントやゲートウェイのインストール中に以下のように表示されます。表示されている Code の文字列をそのまま入力して下さい。この画面は、管理ツール側での Server 登録が終了すると自動的にクローズされます。



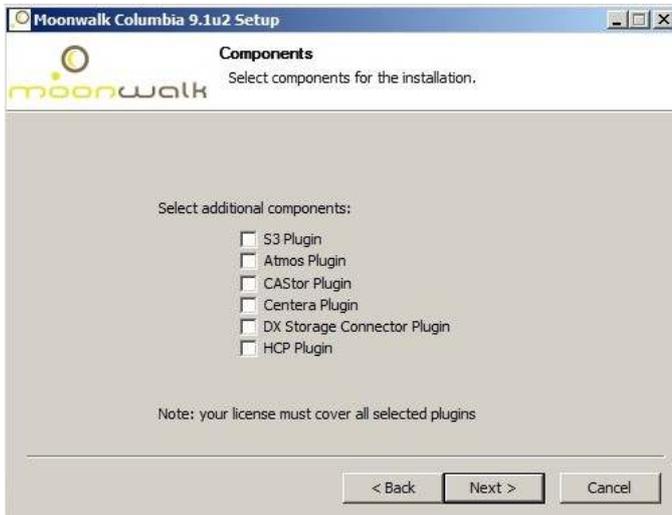
これで、サーバーが登録されました。以下の例では、asrock7..と asrock2008 の 2 台が登録済みです。



Caringo CASTor での設定と動作例

Caringo CASTorを Destination(ターゲット)としてファイルを保存し、ソースにある元のファイルをスタブ化する場合の設定と動作例を紹介します。

今回は、管理ツールが稼動しているマシンを Caringo Castor のゲートウェイとして使用するため、Moonwalk の CD からゲートウェイのインストーラーを起動し、CASTor Plugin を選択して Next をクリックします。



すると、インストーラーで以下の画面が表示され、サーバー登録用のコードが表示されます。



これで、管理ツールのサーバーを見ると前述の Server 画面となります。

Destination(ターゲット)として Caringo を登録するためには、コマンドラインツールである drtool を使用します。

以下は、Caringo 社が提供しているテストサーバーに接続した際の実行例です。

```
C:\Program Files (x86)\Moonwalk\AdminTools\drtool>drtool -createIndex castor://asrock2008.office.optical-expert.jp/cloud.caringo.com  
index id is castor://asrock2008.office.optical-expert.jp/cloud.caringo.com/?idx=  
a60d386e1921bf62979728f4521cfe49
```

これで、ターゲット(Destination)の指定で、castor://asrock2008.office.optical-expert.jp/cloud.caringo.com/?idx=a60d386e1921bf62979728f4521cfe49 を実行します。

以下は社内の CAStor のテスト用クラスターに接続した際の実行例です。

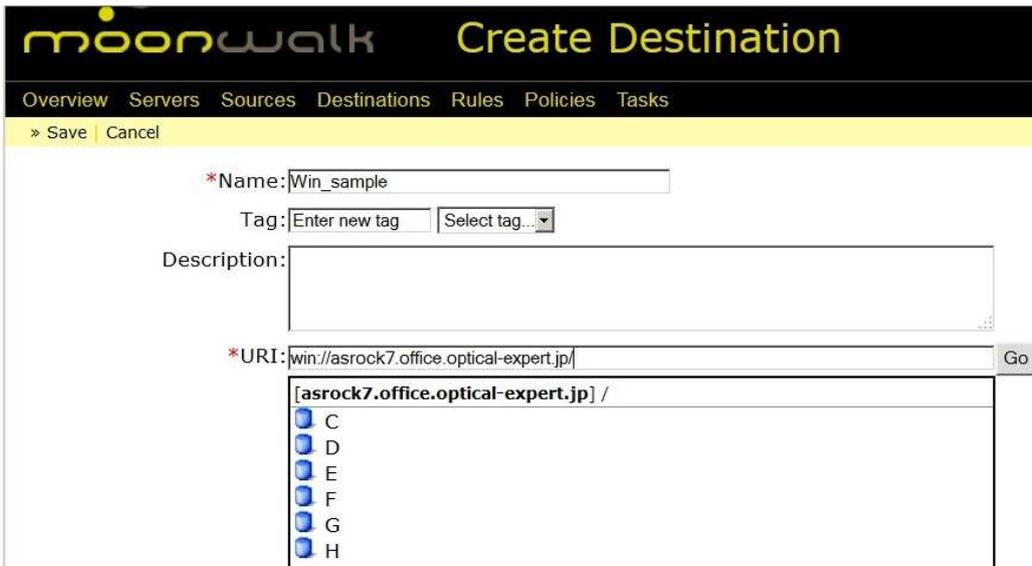
```
C:\Program Files (x86)\Moonwalk\AdminTools\drtool>drtool -createIndex
  castor://asrock2008.office.optical-expert.jp/CARINGO-OE.office.optical-expert.jp
index id is castor://asrock2008.office.optical-expert.jp/CARINGO-OE.office.optical-expert.jp/?idx=6233f515140f81614b0198fe3275df1f
```

Destination の画面では、以下のように 2 種類の Caringo が登録されています。Caringo の方が Web 上で公開されている cloud.caringo.com で、Caringo-OE が、弊社内で構築した 3 ノードのクラスターです。



次に、Windows のエージェントからファイルを CAStor にマイグレートする手順を紹介します。マイグレートは、元のファイルをスタブ化し、ファイルの実体を CAStor に保存します。

Sources のページから、Create Source を選択して、URI の項目でマシン名を入力します。すると最初はドライブレターを選択画面となり、そこからソースに使用するディレクトリーを選択出来ます。この例では、マシンが Windows ですが、Linux の場合も同様にディレクトリーツリーが表示され、選択することが出来ます。



以下が選択したディレクトリーの例で、選択後は Save をクリックします。



Rules は、ソースディレクトリーでどのような属性のファイルを選択するかという条件を設定します。以下は指定例です。例えば、以下のスクリーンショットの jpg_only では、拡張子が jpg でサイズが 100kB 以上のファイルが処理対象となります。

The screenshot shows the Moonwalk Eagle interface. At the top, there is a navigation bar with the following items: Overview, Servers, Sources, Destinations, Rules, Policies, and Tasks. Below this is a secondary navigation bar with links: » Create Rule, Create Compound Rule, Show Details, and List Only. The main content area is titled "Rules" and lists three rules:

- ✓ **all_files_except_systems**
(Filename MATCHES "*"*) AND (NOT System)
- ✓ **jpg_only**
(Filename MATCHES "*.jpg") AND (SIZE >= 100kB)
- ✓ **more_than_10MB**
(Filename MATCHES "*"*) AND (SIZE >= 10MB)

Policy は、条件に適合したファイルをどのように処理するかを指定し、ジョブとして、Source と Destination も指定します。以下が設定された Policy の例です。ここでは、migrate_caringo-oe の Ppolicy を使用しています。

The screenshot shows the Moonwalk Eagle interface for Policies. The navigation bar is the same as in the previous screenshot. The secondary navigation bar has links: » Create Policy, Show Relationships, and List Only. The main content area is titled "Policies" and lists four policies:

- ✓ **copy_cloud.caringo**
copy from **Windows_source** to **Caringo**
executed by **caringo_706_2** (schedule disabled)
Create Task...
- ✗ **copy_to_caringo** Destination is missing
copy from **Windows_source** to ???
executed by **caringo-oe-706_1** (schedule disabled)
Create Task...
- ✓ **Gather_stats**
gather stats from **Windows_source**
executed by **RUN Gather_stats** (schedule disabled)
Create Task...
- ✓ **migrate_caringo-oe**
migrate from **Windows_source** to **CARINGO-OE**
executed by **mig_caringo-oe** (schedule disabled)
Create Task...

さらに、Policy をスケジュール化して実行するために、Task を作成します。

moonwalk Task Details

Overview Servers Sources Destinations Rules Policies Tasks

» Save | Cancel | Run Now | Simulate Now | View Last Stats | View DrTool Files | Delete

Name:

Tip: leave blank to use a default name for a single-policy task

Description:

Policies

Available:

Add Remove

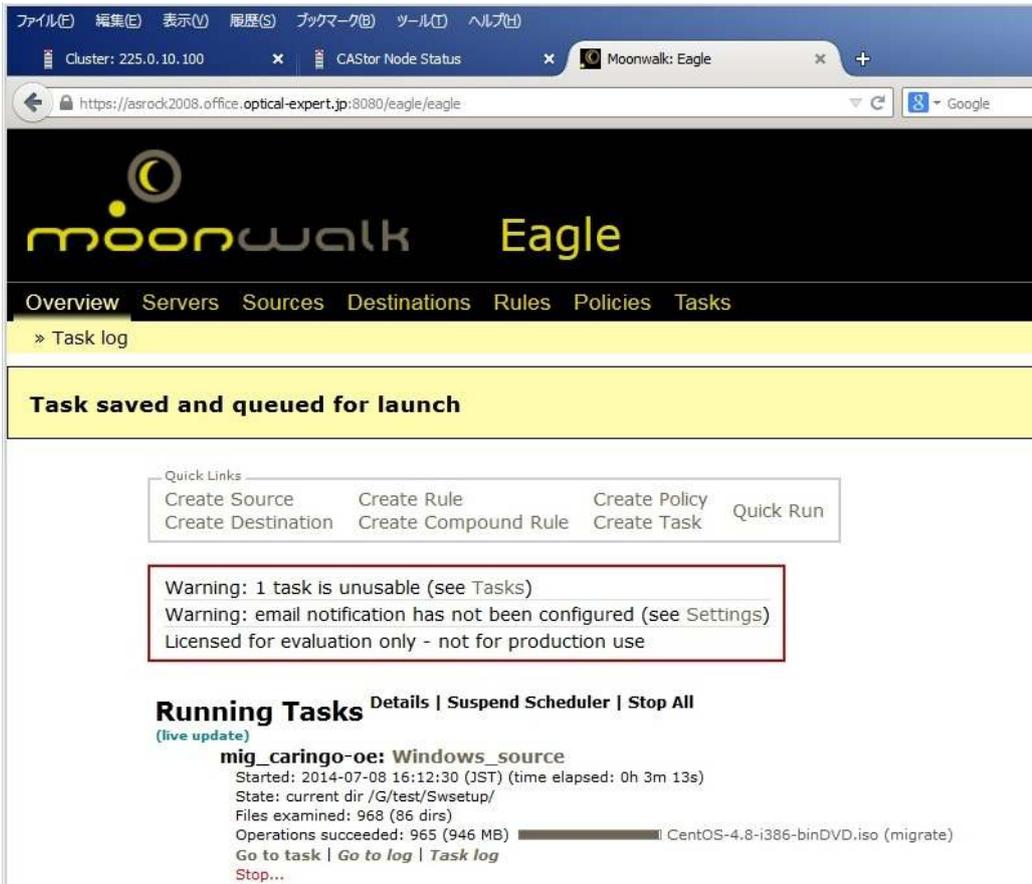
Selected:

Hint: use shift/ctrl for multiple selection

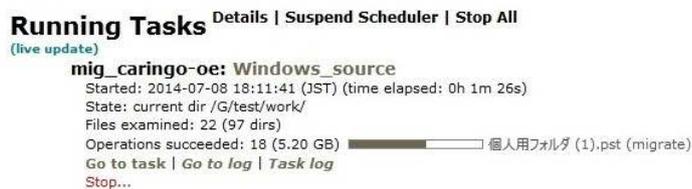
Schedule

Enable:

この画面で、上部にある Simulate Now を実行すると Rules で設定した条件に合うファイルがどのくらいあるかが判ります。Run now を実行すると直ぐに実行され、実行中のログが、Task log として以下のように表示されます。Task log は管理画面では Overview にあります。



以下は Task を実行中のスクリーンショットですが、日本語のファイル名もきちんと表示されています。



Caringo を Destination として、Task を実行した場合の結果は以下の通りです。

1 回目が、1004 個のファイルで 3.29GB、2 回目が、15674 個のファイルで 46.2GB で合計 49.5GB のデータが CARINGO-OE 名の CASstor クラスタに保存されました。



Quick Links

- Create Source
- Create Rule
- Create Policy
- Create Destination
- Create Compound Rule
- Create Task
- Quick Run

Warning: 1 task is unusable (see Tasks)
 Warning: email notification has not been configured (see Settings)
 Licensed for evaluation only - not for production use

Running Tasks [Details](#) | [Suspend Scheduler](#)
 (live update)

Recent Task History [Details](#) | [Clear](#) | [Hide Successful](#)
 (Showing tasks since 2014/7/3 14:19:25)

- mig_caringo-oe: Windows_source**
 Ended: 2014-07-08 19:07:01 (JST) (time elapsed: 0h 55m 19s)
 State: Finished
 Files examined: 15674 (1616 dirs)
 Operations succeeded: 15436 (46.2 GB)
 Go to task | Go to log | Task log
- mig_caringo-oe: Windows_source (Simulation)**
- mig_caringo-oe: Windows_source**
 Ended: 2014-07-08 16:16:41 (JST) (time elapsed: 0h 4m 11s)
 State: Finished
 Files examined: 1006 (96 dirs)
 Operations succeeded: 1004 (3.29 GB)
 Go to task | Go to log | Task log
- mig_caringo-oe: Windows_source (Simulation)**

CAStor の管理 Web ページでのステータスは以下の通りです。Moonwalk が処理したデータ量は、49.5GB ですが、CAStor 上では、レプリケーション等で 122.9GB 消費されています。

The screenshot shows the CAStor Admin Console interface. At the top, it says 'Cluster: 225.0.10.100' and 'Moonwalk: Eagle'. The main content area displays the cluster status for 'CARINGO-OE' with 3 nodes, all in 'Ok' status. Below this, a detailed table lists the individual nodes and their metrics.

Cluster Name	Nodes	Status	Errors	Streams	Used	Capacity	Licensed	% Used	
CARINGO-OE 225.0.10.100	3	Ok	0	65976	122.9 GB	2.2 TB	2.0 TB	6%	
Node IP	Volumes	Status	Errors	Streams	Used	Capacity	Licensed	Uptime	Version
192.168.1.5	1	Ok	0	5187	19.4 GB	285.3 GB		3 hrs, 16 mins	5.0.1
192.168.1.6	1	Ok	0	30716	49.6 GB	977.3 GB		3 hrs, 17 mins	5.0.1
192.168.1.7	1	Ok	0	30073	53.9 GB	976.2 GB		3 hrs, 18 mins	5.0.1